

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	午後4時から午後6時の時間帯にスタッフが、手薄になりがちとなる。原因を検証すると、午後4時に日勤から夜勤へ申し送りが行われ。その後日勤は、介護記録への記録。夜勤は、夕食の準備に入るため入居者への見守りが行き届きにくくなると考えられる。	手厚い見守りをし、ヒヤリハットの解消に努める。	夜勤が申し送りを受けた後は、夕食作りに時間が取られ、十分な見守りが出来ない状態である。夕食作りの時間を短縮することで、見守りが手厚くできるよう、現行の調理方法を見直し、業者を使うこととした。	2ヶ月
2	4 ・ 6 ・ 35	ホーム内における非常時や災害時の地域協力体制がまだまだ不備であるため、地域の協力が不可欠である。	地域住民の方々の協力を得て、非常時や災害時のネットワークを構築するための会議を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議へ隣接者にも出席を要請する。</li> <li>・グループホームをもっと、知って頂く。</li> <li>・地域と役割分担を明確にした避難訓練に参加の要請をする。</li> <li>・防災グッズの備蓄。</li> <li>・地域との防災協定の締結</li> </ul>	12ヶ月
3	49	入居者からの預金管理や買い物(オムツ等)に膨大な時間が費やされてしまっているのので、簡素化のできることから改善していく。	預金管理事務や買い物(オムツ等)の時間を短縮する。	入居者の買い物(特にオムツ等)は、市内の薬局店と提携して、月1回の請求・支払の方法をとり、事務量の削減、買い物の時間の短縮することに取り組む。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。